川崎市こころの電話相談業務委託プロポーザル評価委員会設置要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、川崎市こころの電話相談業務を委託するに当たり、プロポーザル方式による公正かつ適正な審査により、委託するに相応しいと認められる事業者を選定することを目的として、川崎市こころの電話相談業務委託に係るプロポーザル評価委員会（以下「委員会」という）を設置することとし、その運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(所掌事務)

第2条 委員会の所掌事務は、前条の事業を委託する事業者をプロポーザル方式により選定することとする。

(委員)

第3条 委員会の委員は、次の各号に掲げる者に就任を依頼し、委員とする。

- (1) 健康福祉局総合リハビリテーション推進センター所長
- (2) 健康福祉局総合リハビリテーション推進センターこころの健康課長
- (3) 健康福祉局総合リハビリテーション推進センター企画・連携推進課長
- (4) 健康福祉局障害保健福祉部精神保健課長
- (5) こども未来局児童家庭支援・虐待対策室担当課長

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、前条第1号に掲げる者をもって充てる。

- 2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。
- 3 委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、前条第2号に掲げる者がその職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会は委員長が招集し、その会議の議長となる。

- 2 委員会は、委員の過半数以上の出席がなければ開催することができない。
- 3 第3条第2号から第5号までに掲げる者の出席が困難な場合は、代理者の出席を可能とする。この場合において、代理者を出席させる委員は、あらかじめ委員長へ報告しなければ

ばならない。

(審査及び選定)

第6条 委員会は、第1条の事業を受託するためプロポーザルへの参加意向を申し出た事業者のうち、あらかじめ健康福祉局総合リハビリテーション推進センターこころの健康課（以下「こころの健康課」という。）から、参加意向申出書、実績表、コンプライアンス（法令遵守）に関する申告書、誓約書その他関係書類の確認を受け、参加資格があるものと認められた事業者に対し、事業の企画及び提案の内容について、プレゼンテーションさせることができる。

2 委員会は、前項の規定により、プレゼンテーションを実施する場合には、参加事業者に対し、あらかじめ提案書、見積書、決算書その他関係書類（以下「提案書」という。）を提出させ、実施するものとする。

3 委員会は、プレゼンテーションを実施した場合には、提案書等及びプレゼンテーションの内容について、出席した委員及び代理者ごとに、別に定める評価基準による評価及び審査を行い、当該評価及び審査結果を合計した上で、最も優れた事業者を委託事業者として選定する。ただし、当該評価及び審査結果を合計した結果、2以上の事業者が同点となる場合は、出席した委員及び代理者による審議等を行った上で、選定することができる。

(関係者の出席)

第7条 委員会は、必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、その意見又は説明を聞くことができる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、こころの健康課において処理する。

(委任)

第9条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、健康福祉局長が定める。

附 則

この要綱は、令和7年1月1日から施行する。